事例No.	1824
公表年度	R4
団体の属性	一般市
団体名	徳島県三好市

事例区分	公営企業

タグ	・下水道事業 ・新たな政策手法の確立・活用 ・公共施設活用

事例種類	PPP/PFI

事例内容・タイトル

PFI による公共浄化槽（市町村設置型）の整備

出典

公営企業の持続可能な経営の確保に向けた先進・優良事例集

【徳島県三好市】
PFIによる公共浄化槽（市町村設置型）の整備

PPP/PFI　下水道事業

徳島県三好市環境福祉部環境課

● 取組の概要

身近な水環境の保全と汚水処理人口の増加を図るため、PFI事業方式による公共浄化槽（市町村設置型）の整備と維持管理に取り組んでいる。

◆総事業費　委託料　4,014,458千円（計画期間：平成27～令和12年度の16年間）

◆背景

- 本市は全国的にも汚水処理が遅れている状況にあり、広大な行政面積に山間集落が点在し、将来的な人口減が予想されることで集合処理による汚水処理は困難な状況で個別処理の合併浄化槽整備を急ぐ必要があった。
- これらの課題解決に向け、市では合併旧6町村の一部で平成16年度から市町村設置型、平成17年度からPFI事業を実施してきたが、市内の大半は個人設置型で汚水処理サービスに地域間格差があった。
- こうした中、地域間格差の解消と計画・効率的な浄化槽整備を進めるため、平成27年度から市内全域でPFI事業方式の浄化槽市町村整備推進事業を実施することとした。

◆具体的内容

- 市町村設置型浄化槽の整備及び維持管理に民間資金や経営・技術的能力を活用するため、PFI事業（BTO方式）を導入した。

◆効果

- 人口減、景気低迷の中で堅実に浄化槽整備が進み、汚水処理率、単独転換割合は顕著に向上（汚水処理人口普及率／平成26年：47.3%→令和3年：62.5%）している。
- 設置後の浄化槽は高水準の維持管理が継続されている。
- 民間独自のサービスで事務の簡素化（ワンストップ、24時間対応等）を図っている。

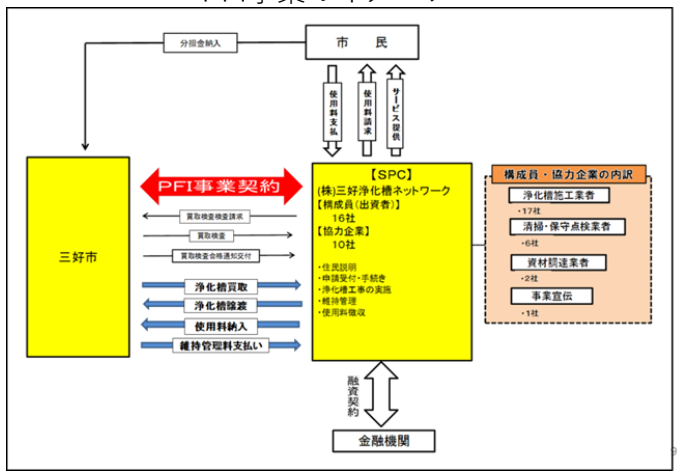
● 取組のポイント

- 市内の一部で過去にPFI方式の市町村設置型に取り組んだ実績があり、PFIの事業効果（VFM等）や課題を検証しやすい環境があった。
- PFI事業に係る提案事業者を募集するにあたり、地元関連事業者内でPFI事業勉強会が開かれる等、地元での期待感（地域経済効果等）があった。
- 円滑な事業実施のため、次の取組を実施した。
  - ① 市の主要施策としての位置付け（公有財産の増に伴う市財政負担への理解）
  - ② 財政的な見通しの検証（経営戦略策定、設置目標基数や使用料の設定等）
  - ③ PFI事業導入可能性調査の実施（平成26年／PFI方式に優位性があると判断）

● 公営企業情報

- 行政区域内人口　24,079人（令和4年1月1日時点）
- 行政区域内面積　721.42km^2（令和4年1月1日時点）
- 処理区域内人口　3,132人（令和3年度決算）

PFI事業のイメージ



● 取組のスケジュール

- 平成26年4~7月　導入可能性調査の実施
- 平成26年12月　事業者募集要項の公表
- 平成27年2月　優先交渉権者の選定、基本協定締結
- 平成27年4月　事業開始

● 今後の展望

- 市内を滔々と流れる吉野川やその周辺の美しい水環境を後世に受け継ぐため、今後もPFI事業による公共浄化槽整備の推進を目指す。
- PFI事業の強みを生かし、市民への普及啓発を図る。
- 浄化槽事業会計を令和6年度からは公営企業会計（法適）に移行する。